

【大腿骨頸部骨折地域連携パス】(退院目標:術後9週) 長崎県島原病院⇒回復期()病院⇒自宅・施設 医療者用

ID: 氏名: 年齢: 歳 生年月日
 ■診断名: □右 □左 大腿骨頸部骨折 ■受傷日: 平成 年 月 日
 ■手術日 平成 年 月 日 ■術式: □人工骨頭 □骨接合(□髓内釘 □CHS □CCS)

到達目標		術後9週で自宅または施設へ退院ができる(受傷前のセルフケア、歩行、移動能力に近づける)								
入院前情報		術後経過			島原病院退院時	術後4週	術後8週	術後12週	退院時	
		評価日			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
		点数	[0点]	[1点]	[2点]	(術後 日)				
受傷前所在	□自宅同居 □独居 □施設 □入院中	日常生活機能評価表	症状安静の指示	なし	あり					
歩行能力			手を胸元まで挙上できる	できる	できない					
補助具使用			寝返り	できる	つかまればできる	できない				
家屋環境	屋内 □無 □有 屋外 □無 □有		起き上がり	できる	できない					
			座位保持	できる	支えがあればできる	できない				
寝具	□ベッド □布団		移乗	できる	見守り・一部介助	できない				
			移動方法	介助を要しない	介助を要する					
段差	□無 □有		移動方法(評価指標の歩行能力より選択)	介護度 ①自立 ②見守り ③一部介助 ④全介助			点数に含まれない			
			手すり	□無 □有	口腔清潔	できる	できない	全介助		
認知度			食事摂取	介助なし	一部介助	全介助				
介護認定	□無 □申請中 □有 要支援() 要介護()	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助					
		他者への意思の伝達	できる	時々可能	できない					
		治療上の指示が通じる	はい	いいえ						
		危険行動	ない	ある						
		合計点数: 点								
薬剤管理	□服薬無 □自己管理 □家族 □施設	排泄	尿便意:	□有	□無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	□有 □無	
			排尿回数:	昼(6時~21時) 夜間(21時~6時)		昼 回	夜 回	昼 回	夜 回	昼 回
			排泄方式	①トイレ ②ポータブルトイレ ③尿便器 ④オムツ						
			介助度	①自立 ②見守り ③一部介助 ④全介助						
		清潔	形式	①入浴 ②シャワー ③清拭						
			介助度	①自立 ②見守り ③一部介助 ④全介助						
急性期退院時記載		目標(ゴール)	歩行目標(番号で記載)			□自宅 □施設	□自宅 □施設	□自宅 □施設	□自宅 □施設	
術後合併症 □無 □有		連携先退院時情報			バランス評価(術後9週で退院)		転帰			
禁忌肢位 □無 □有	最終歩行能力	患者・家族			□ 1. 患者の回復の遅延や合併症の出現 □ 2. CP設定日より回復が早い □ 3. 患者家族の理解力が不足している □ 4. 患者・家族の意思(拒否、希望など) □ 5. その他()		□自宅 サービス □無 □有() □施設() □病院()			
疼痛 部位()	補助具	地域(社会的要因)								
□安静時 □運動時 □荷重時	寝たきり度	要支援 □1 □2 □無			□ 1. 退院後の受け入れ施設の空所待ち □ 2. 在宅ケアでの援助者の不足 □ 3. 在宅ケアでの設備・器具の不足		コメント			
ROM:屈曲()度	認知度	要介護 □1 □2 □3 □4 □5 □申請中								
GMT:右 左	【介護認定】	【寝具】 □ベッド □布団								
退院後受診 □有 □無	退院後	【段差】 □有 □無								
次回予約日 月 日 時 分		【手すり】 □有 □無								
□回復期退院後										

<急性期>主治医: 看護師: 理学療法士: 作業療法士: <回復期>主治医: 看護師: 理学療法士: 作業療法士:

評価指標 歩行能力 ①独歩 ②杖歩行 ③伝え歩き ④歩行器 ⑤車椅子 ⑥いざり ⑦寝たきり
 認知度 ①I ②II ③IIa ④IIb ⑤III ⑥IIIa ⑦IIIb ⑧IV ⑨M ⑩無
 寝たきり度 ①J1 ②J2 ③A1 ④A2 ⑤B1 ⑥B2 ⑦C1 ⑧C2